

### 3. とともに学び・成長できるまち うらやす

#### これから親となる世代の育成

事業番号	46	事業名	小中学生と赤ちゃんとのふれあい体験講座等の実施	担当課	保育幼稚園課
計画内容	赤ちゃんに触れ、命や子育ての大切さについて考える機会を持つことを目的に、小中学生と赤ちゃんとのふれあい体験講座等を実施します。				
	平成15年度実績	認可保育園 8園	平成21年度目標	8園	
平成19年度実施状況と評価	市内小中学校及び高校の社会体験活動の中で、各保育所においてその機会を提供している。これから親となる世代に子育ての楽しさやすばらしさを伝えるため、乳幼児との交流を通じてその機会を持つことができた。				
平成20年度事業予定と今後の課題	地域と学校の連携の下、体験を通じ豊かな人間性を育成する上で、乳幼児などと交流する機会の提供は必要であり今後も継続していく。				

#### 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境などの整備

事業番号	47	事業名	幼児教育振興プログラムの策定・運用	担当課	保育幼稚園課 指導課
計画内容	幼稚園の整備状況及び地域の実情等を考慮し、公立幼稚園の適正配置、公・私立の選択肢の拡大など、本市の幼児教育の振興に関する政策プログラムを策定・運用を図ります。				
	平成15年度実績	検討	平成21年度目標	策定・運用	
平成19年度実施状況と評価	<p><b>幼稚園教育の振興</b> 3歳児保育：青葉幼稚園、堀江幼稚園、入船南幼稚園の3園で実施（各園1学級20名定員、6月1日入園） 預かり保育：実施3園の定員を40名から50名とし実施 私立幼稚園誘致：高洲地区1園平成20年4月開園</p> <p><b>幼稚園と小学校の連携</b> 幼稚園と小学校の連携推進：公開研究会2回実施、資料作成 教育研究協力委員会議「幼小連携部門」の中で、昨年度に引き続き、研究を進めてきた。今年度は、公開研究会を実施し、保育園、幼稚園、小学校の教師が研究協議に参加する機会を設けることが出来た。</p> <p><b>幼児期の家庭教育および地域社会における子育て支援の充実</b> 子育てすこやか広場：開催数及び相談事業内容の充実 子育てすこやか広場開催回数 延べ 417回 参加人数 延べ 15,182人 保育カウンセラー配置日数 延べ 140日 相談回数 延べ 1,266回</p>				
平成20年度事業予定と今後の課題	<p>「幼児教育振興プログラム」、文部科学省が、平成13年3月29日に定められ、実施期間は平成13年度から平成17年度（5年間）である。</p> <p>本市においては、浦安市幼稚園教育のあり方検討委員会が平成14年8月に報告した「新しい時代の幼児教育の環境づくりについて」が「幼児教育振興プログラム」にあたる内容となっている。具体的内容は「私立幼稚園の誘致」「預かり保育の拡充」である。しかし、新たに「公立幼稚園の3歳児保育」が実施されるなど、報告書内容からの変更が生じている。今後「公立幼稚園の統廃合」を含め、計画の見直しが必要である。</p> <p>また、平成18年10月に文部科学省が「幼児教育振興アクションプログラム」を定め、その実施期間は、平成18年度から平成22年度までとなっている。</p> <p>このことを受け、これまでの研究を踏まえて、20年度は、幼保小連携教育検討委員会を設置（指定園・小学校を決定）し、連携のあり方を研究するなど、浦安市の基本方針を作成する必要がある。</p>				

事業番号	48	事業名	小学校及び中学校の整備	担当課	学務課 (教育施設課)
計画内容	住宅開発や居住世帯の年齢構成等を鑑みつつ、学校の整備に取り組み、教育環境整備を推進します。				
	平成15年度実績	小学校14校・中学校7校	平成21年度目標	小学校17校・中学校8校	
平成19年度 実施状況と評価	<p>学校教育施設整備等調整会議 0回開催（ただし教育委員会内3回開催） 調整会議において、元町地区等の市立小学校整備等のあり方について検討してきた。 特に昨年度課題であった 児童生徒数推計を業務委託すること 富岡小学校教室不足について検証していくことの2点を中心に検討してきた。 現在、各小学校区児童推計を委託しており、元町・中町地区のまとめ及び新町地区の推計作業中である。 また、については、富岡小学校教室不足対策として、（仮称）東野小学校建設事業をスタートしました。</p> <p>小学校 17校 児童数 10,464人、学級数 322学級（特別支援学級 10学級） 中学校 8校 生徒数 3,154人、学級数 93学級（特別支援学級 6学級） （平成19年5月1日現在）</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	上記調整会議を適宜開催し、長期的な町づくりという観点で学校整備・適正配置を検討していく。さらに20年度より第2次学校適正化検討委員会を立ち上げ、学区再編、統合等も含めて検討していく予定である。				

事業番号	49	事業名	少人数教育の実施	担当課	指導課
計画内容	ティームティーチングや少人数指導などによるきめ細かな学習指導を行い、児童生徒一人ひとりに応じた学習指導の充実を図ります。				
	平成15年度実績	実施	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	<p>市立小・中学校 25校全校に、少人数教育推進教員を各校1～4名計60名（中途退職や中途採用を含めた3月末数）を配置した（学務課）。県費教員と連携し、学習活動やその他学校生活の諸活動で、個に応じたきめ細かな指導の推進に貢献している。</p> <p>また、少人数教育推進教員の実践力の向上を目指し、当該教員を対象とする研修会を年間3回開催するとともに、当該教員に各学期の実践計画書及び実践報告書の作成を求め、当該教員自身が見通しをもった計画な取り組みとその進捗状況把握ができるようにしている。</p> <p><b>指導形態</b> 小学校の算数 ティーム・ティーチング（以下、TT） 60%、 習熟度別指導 27% 単純分割による少人数指導等 13%程度 ・児童の実態や学習のねらいに応じた指導形態の工夫 少人数分割した上そのうち1グループをTTにする。 授業の導入部分をTTによる一斉学習 後半を習熟度別学習にする。 学級の枠をこえて課題別の編成にするなど。</p> <p>中学校の数学 習熟度別指導 60%</p> <p><b>課題</b> 人材確保。毎年、少人数教育推進教員の多くが県費教職員採用試験を受験し、約半数が退職している。その上、全国的な少人数指導の実施に伴い、少人数教育推進教員の人材確保が一層困難な状況になってきている。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	少人数教育推進教員の人材確保にむけて、関係大学への訪問等により、関係大学への協力要請を強化していきたい。（学務課） 学校訪問や各種研修会等を通して、各学校の実情を踏まえつつ、県費教員と連携したより効果的な指導方法の工夫改善に向けて指導・助言したい。（指導課）				

事業番号	50	事業名	小規模学校選択制度の実施	担当課	学務課
計画内容	<p>「自分にあった教育を受けたい」「子どもに適した教育を受けさせたい」という希望に応えるため、また、各学校がよりよい教育を実践しようと工夫を凝らし、特色ある学校づくりを進めていく環境をつくるため、通学区域制度を弾力化し、保護者や子どもが入学先学校を希望できる小規模学校選択制度を導入・実施します。</p>				
	平成15年度実績	計画	平成21年度目標	実施	
平成19年度 実施状況と評価	<p>平成20年度市立小学校及び中学校に入学する新1年生全員を対象とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 対象者へ学校紹介パンフレット発送（小学校 約1,900人、中学校 約1,600人）</li> <li>2 学校公開日設定（10月中、約3週間） 受入可能校 小学校～浦安小、美浜南小、入船北小、入船南小、美浜北小、明海小 中学校～見明川中、美浜中、明海中</li> <li>3 平成19年度選択制度利用者 小学校 45名、中学校 283名</li> </ol> <p>平成15年度より実施している本制度について、お子さんや保護者が、自分に適した教育を受けたい、或いは子どもに適した教育を受けさせたいという希望を生かすため、学校選択の機会を拡大することというねらいは周知されていることからその利用率が年々アップしている。今年度小学校は5名分増加、中学校は98名分増加し、受け入れ学級数も増やしてきた。また、各学校がよりよい教育を実践しようと工夫を凝らし、特色ある学校づくりを推進していくというねらいも学校紹介パンフレットや学校公開等を通して浸透してきている</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	<p>同様に実施していく予定だが、学校間格差や受け入れ時の時期や方法等も課題となっており、今後検討していく。</p>				

事業番号	51	事業名	職業体験学習の整備・推進	担当課	指導課
計画内容	<p>生徒が地域における職業体験を通して働くことの尊さと意義に気づき、一人ひとりの夢と希望を育み、自己の将来について真剣に考える態度を養うことを目的に、職業体験学習を行います。</p>				
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	整備・推進	
平成19年度 実施状況と評価	<p>市立各中学校（8校）の職場体験学習の実態把握（職場体験を実施している学校：7校） 「職場体験」を各中学校で計画・実践されているのが実情である。各学校での取り組みにおいて、教職員や保護者の協力により体験場所を確保している。市役所や市の公共施設でも多くの職場体験を受け入れている。しかし、教職員や保護者、また受け入れる職場にとっても大きな負担となっている。</p> <p>文部科学省や県教育委員会の「キャリア教育実践プロジェクト」の実施によって、中学生の5日間の職場体験（「キャリア・スタート・ウィーク」）の実践が求められている現状から、今後は、体験場所の確保や日程の重複等を避けるためにも、各中学校の職場体験の計画や運営を支援する方策を検討し、学校・保護者・地域及び教育委員会の連携による新たな組織づくりの研究が必要である。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各中学校の職業体験学習の現状把握の継続</li> <li>・職場体験学習に協力している企業、店舗、公共機関・施設への意識調査等、現状の分析をし、今後の方策を検討したい。</li> </ul>				

事業番号	52	事業名	いちよう学級(適応指導教室)の設置	担当課	指導課 教育研究センター
計画内容	学校に行きたい気持ちがあっても行けない子どもたちに、学習・小集団活動の指導・援助を行う、不登校児童・生徒のためのいちよう学級(適応指導教室)を設置します。				
	平成15年度実績	1か所	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	<p>市立小・中学校の不登校児童生徒のうち本人、保護者、学校で協議し、通級を希望する児童生徒を受け入れている。</p> <p>適応指導教室は、不登校児童生徒の学校復帰を目的に、カウンセリングや学習指導、集団活動、体験活動等を実施して、自己決定力の育成を支援・援助し、集団生活への適応能力を育成している。</p> <p>不登校は学校復帰を果たしたといえども、当該児童生徒が義務教育を終了するまでを見なければならず、単に数字を比べることが評価になるかは疑問であるとともに、通級生が増えることが評価のうえで向上と言えるのかは断定できない。</p> <p>しかし、現在、通級生にとって、適応指導教室が「心の居場所」となっており意義は大きい。</p> <p>18年度末復帰者数 6名 19年度実績値(平成20年3月末現在) ・通級生数 18名(小学生 2名、中学生 16名) ・復帰者数 5名(小学生 1名、中学生 4名)</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	同様に実施していく。また、適応指導教室を必要とする児童・生徒が情報を得られるよう、今後とも保護者、学校に周知していきたいと考えている。				

事業番号	53	事業名	いじめ110番の設置	担当課	指導課
計画内容	いじめ予防とその防止及びいじめ問題の早期解消を図るため、教育委員会に「いじめ110番」専用電話を設置します。				
	平成15年度実績	32件	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	<p>今年度の相談件数は大きく減少している。これは、昨年度のいじめ問題の社会問題化を契機に、各学校で、いじめの早期発見・早期対応の体制づくりや「いじめゼロキャンペーン」等の児童・生徒による活動等、さまざまな対策を講じてきた成果だと考えられる。</p> <p>相談者やその内容については多様化しており、他市の児童・生徒・保護者からの相談や成人青年の相談、児童の子育てに関する相談なども見られている。</p> <p>これらは匿名性を重視するいじめ問題の特徴ゆえに、相談することで自己に直接的に影響しない方法を相談者が選択している結果であり、同時に本事業が広く認知されていることを表していると言えよう。</p> <p>ゆえに、本事業では、相談者の意向を踏まえながら学校や他の相談機関との連携によって、それぞれの事案に応じた対応を図っている。</p> <p>学校や家庭での不満や要望に対してあらゆる場面で対処し、関係各機関が連携しながら対応することは、児童・生徒の健全育成を図る上で重要なことである。その意味では、今後とも必要な事業であると言える。</p> <p>19年度相談実績 ・相談件数 9件 ・相談内容 言葉での脅し 1件 冷やかし、からかい 2件 持ち物隠し 1件 暴力を振るう 1件 その他 2件 いじめ以外 2件 ・相談対象 小学生 2件 中学生 2件 高校生 2件 その他 3件</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	相談内容に応じて関係機関との連携による対応をしている事業の性質上、数値として目標を設定することはその目的にはそぐわない。より多くの市民に本事業を認知してもらうこと、関係各機関と情報を共有するとともに有機的な連携による対応の促進を図る。				



事業番号	54	事業名	青少年ボランティア育成事業		担当課	社会福祉協議会
計画内容	さまざまな経験を通して子どもたちの成長を支援するため、地域における青少年ボランティア育成事業を推進します。					
	平成15年度実績	ヤングボランティア体験教室の開催 (延べ参加人数72人) 小中学校等でのボランティア体験教室 協力(18か所) 夏休みボランティア体験学習 (延べ活動人数87人)	平成21年度目標	推進		
平成19年度 実施状況と評価	<p>夏休みボランティア体験説明会 19年度夏休みボランティア体験説明会参加者人数 61名(中学生14名、高校生37名、大学生等10名) 夏休みに施設等でのボランティア体験を希望する学生を対象に、ボランティアセンター では、ボランティアの心構えや車いす体験、視覚障がい者へのガイドヘルプ体験、高齢者疑似体 験、施設訪問時の基本的マナーなどについての説明会を開催し、参加者に施設等を紹介しボラン ティア活動を体験させた。</p> <p>小中学校等でのボランティア体験教室への協力 8校 夏休みボランティア体験説明会では、昨年と比べ19名減少。 昨年までは中学1年生以上を受けつけたが、今年度は中学3年以上とした。また、中学1、2年生 の希望者には、受け入れて可能な施設を紹介した。</p> <p>今回、広報うらやす、ミニコミ誌、各公民館のほか、各市内中学校、高等学校、大学 あてに夏休みボランティア体験説明会開催通知を配布し、この説明会の趣旨を理解していただ き、多くの学生にボランティア活動を体験してもらうことに努めた。</p> <p>小中学校等でのボランティア体験教室では、身体障がい者や視覚障がい者からの話しや、ボラ ンティアグループによる車いす体験、ガイドヘルプ体験を行っている。</p>					
平成20年度 事業予定と 今後の課題	<p>夏休みボランティア体験説明会の対象を中学3年からでよいか。中学1,2年の受け入れをどうする か。</p> <p>8ヶ所の施設で体験希望者がいなかった。</p> <p>受け入れ条件(年齢制限と日数制限)が厳しかったところと東西線浦安駅周辺の施設が多かつ た。</p> <p>平成15年度のヤングボランティア体験教室と夏休みボランティア体験学習を統合したものが 夏休みボランティア体験説明会。</p>					

事業番号	55	事業名	青少年センターの相談業務の充実(再掲)	担当課	青少年センター
計画内容	思春期の児童・生徒及びその保護者に対する相談体制の充実を図ります。				
	平成15年度実績	相談延べ	319人	平成21年度目標	充実
平成19年度 実施状況と評価	<p>青少年の問題行動や家庭・学校生活などに関する相談（電話及び来所）を家庭教育指導員（2名）と青少年センター相談員が受理し対応している。また、相談業務の充実のため、女性と子どものための相談機関をはじめ関係諸機関との連携を図っている。</p> <p>相談対象者として義務教育を終了した者や私立学校通学者が見られる。公立の義務教育段階にある相談機関が対象としていない方々の相談に対応することができた。</p> <p>19年度相談件数（平成20年3月末日現在）</p> <p>電話相談 123回 来所相談 83回 合計 206回</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	義務教育を終えたひきこもり・ニートと呼ばれる方々へも相談の周知を図り、相談活動の一層の充実をめざす。				

事業番号	56	事業名	青少年補導員活動の実施	担当課	青少年センター
計画内容	思春期の児童・生徒の非行の未然防止と健全育成の促進のため、青少年補導員活動を実施します。				
	平成15年度実績	青少年補導員数	102人	平成21年度目標	継続
平成19年度 実施状況と評価	<p>市内に103名の青少年補導員を委嘱し、補導活動をはじめ、非行防止に視点をいた青少年の健全育成活動を推進している。</p> <p>地域の方に健全育成を呼びかける街頭啓発活動（6月）、補導員活動の理解を求める一日補導員キャンペーン（10月）、広報紙べかぶねの発行（2,200部×6回）、補導員資質向上のための研修会（視察・講演会等4回）、補導員相互の情報交換のための中学校区ブロック会議（4回）を実施した。</p> <p>街頭啓発、一日補導員キャンペーンでは広く市民に青少年健全育成への呼びかけを行うことができ、広報紙はホームページにも掲載し、周知を図った。</p> <p>研修会にも多くの参加を得、ブロック会議では、地域の実態把握・計画の充実した実施に取り組むことができた。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	一日補導員キャンペーンでは、さらに多くの市民の参加を求めていく。研修会・ブロック会議では、補導員のより一層の参加を推進していく。広報紙では、タイムリーな特集の充実を図る。				

事業番号	57	事業名	教育フォーラム、教育講演会の実施	担当課	指導課 教育研究センター
計画内容	子どもたちの教育について、学校・保護者・地域・行政で考えるフォーラムや教育講演会を実施します。(平成16年度より実施)				
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	<p>浦安の教育の充実と課題解決に向け、学校、保護者、市民、行政の連携を深めることを目的に、8月に教育フォーラムを1回、教育講演会を1回実施した。</p> <p>教育フォーラムでは「子どもたちの人間関係力をどう育むか」をテーマにタレントのダニエルカール氏による基調講演と、平成18年度及び平成19年度に実施した生活意識調査結果報告、さらに識者と地域の代表によるシンポジウムを行った。</p> <p>教育講演会は「親・家庭の教育力低下が叫ばれている中で～改めて子育て支援、親支援とは～」を演題とした恵泉女学園大学院教授大日向雅美氏による講演会を実施した。</p> <p>・教育フォーラムは、他課（青少年課、市民スポーツ課、生涯学習課、中央公民館）との連携を図ったことにより参加者の実績が昨年度を上回った。 （学校関係者143名 273名、保護者28名 47名、その他161名 71名、合計332名 391名） 実施後のアンケートでも「とても参考になった」「参考になった」と回答した割合が94%であった。</p> <p>・教育講演会は、学校関係者242名、保護者32名、その他71名、計345名であり、実施後のアンケートの結果も「とても参考になった」「参考になった」と回答した割合が97%もあり、好評を得た。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	<p>フォーラムの開催日程を平日の午後開催とし、保護者や市民への広報を積極的に行う（広報誌、実施報告書）ことで、市民の参加数増加をめざす。</p> <p>今年度のアンケートの結果や反省に基づき、引き続き他課との連携を図り、魅力あるテーマの設定と講師の招聘、及び内容の充実を図る。</p>				

### 地域での健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上

事業番号	58	事業名	ブックスタート事業の実施	担当課	中央図書館 (健康増進課 ・市民課)
計画内容	出生届けの際に記念品として絵本を配布し、生後4か月以降にブックスタート絵本講座を実施します。絵本を介して、親と子が心とことばを通わせ、親子の絆を深めるとともに、乳幼児に読書の基礎となる絵本の大切さ、楽しさを伝えることを支援します。				
	平成15年度実績	ブックスタート絵本講座 参加者(1月～3月) 277人	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	<p>市民課で出生届けの際に記念品として絵本を配布。</p> <p>その後、健康増進課から各家庭への通知の際に事業の案内をあわせて行い、生後4ヶ月以降の親子を対象に中央図書館でブックスタート絵本講座を実施した。</p> <p>講座では、絵本の与え方楽しみ方を伝えるとともに簡単なわらべうた遊びも紹介した。</p> <p>ブックスタート絵本講座の参加者は昨年度とほぼ同数となっている。</p> <p>乳児を持つ保護者に、読書の入り口としての絵本の読み聞かせの大切さ、楽しさを伝えるとともに、講座への参加はその後の図書館利用、その他の集会事業への参加などにも結びついている。</p> <p>さらに、参加者の増加を目指してゆきたい。</p> <p>平成19年度 ブックスタート絵本講座実施状況 実施回数 48回（毎月第2金曜午後 地域ごとにグループに分け4回実施） 参加人数 984人</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	継続				

事業番号	59	事業名	児童集会事業の実施	担当課	中央図書館																		
計画内容	お話会や読み聞かせの会、簡単な理科実験の会などを行い、子どもたちに本を読むことや知識を得ることの楽しさを知る機会を提供します。また、子どもに関わる大人(親・教師・保育者など)を対象に講演会や講座を開催し、子どもの読書の大切さへの理解を促します。																						
	平成15年度実績	延べ実施回数	513回,人数	4,794人	平成21年度目標	継続																	
平成19年度 実施状況と評価	<p>児童を対象に「おはなし会」「えほんのじかん」「科学で遊ぼう」「お楽しみ会」などを実施した。</p> <p>また、子どもに関わる大人(保護者、教師、保育者など)を対象に、「絵本のよみきかせ講座」「親子で楽しむ絵本講座」「子どもの本の講座」などの講座、講演会を実施した。</p> <p>平成19年度 児童集会事業実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おはなし会</td> <td>22回</td> <td>143人</td> </tr> <tr> <td>えほんのじかん</td> <td>502回</td> <td>6,008人</td> </tr> <tr> <td>わらべうたの会</td> <td>24回</td> <td>617人</td> </tr> <tr> <td>親子で楽しむ絵本講座</td> <td>6回</td> <td>164人</td> </tr> <tr> <td>おたのしみ会</td> <td>2回</td> <td>157人</td> </tr> </tbody> </table> <p>など</p> <p>子どもたちに本を読むことや、知識を得ることの楽しさを知る機会を提供した。子どもに関わる大人(保護者、教師、保育者など)に子どもの読書の大切さへの理解を促した。ほとんどの事業において、昨年度同等もしくは昨年度を上回る参加者を得ている。</p>						実施回数	参加人数	おはなし会	22回	143人	えほんのじかん	502回	6,008人	わらべうたの会	24回	617人	親子で楽しむ絵本講座	6回	164人	おたのしみ会	2回	157人
	実施回数	参加人数																					
おはなし会	22回	143人																					
えほんのじかん	502回	6,008人																					
わらべうたの会	24回	617人																					
親子で楽しむ絵本講座	6回	164人																					
おたのしみ会	2回	157人																					
平成20年度 事業予定と 今後の課題	継続して実施。																						

事業番号	60	事業名	図書館における児童サービス事業の実施	担当課	中央図書館						
計画内容	子どもと本を結びつけること、子どもに関わる大人(親・教師・保育者など)に子どもにとっての読書の大切を伝えることを目的に、図書資料の選定、貸出し、紹介や読書相談などを行います。また、学校等の関係機関とも連携を図ります。										
	平成15年度実績	児童書の貸出し冊数	387,901冊	平成21年度目標	推進						
平成19年度 実施状況と評価	<p>学校等の類縁機関とも連携を図り、団体貸出しや、それぞれの施設に出向いて、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング(おはなし)、ブックトーク(本の紹介)などを実施した。子どもと読書に関する講師派遣も行っている。</p> <p>平成19年度 児童書貸出冊数 489,984冊</p> <p>平成19年度類縁機関サービス実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>891回</td> <td>24,472名</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童書の貸出し冊数は前年度に比して29,260冊の増加となった。類縁機関に対するサービスもほぼ前年度並みの実績を得、順調である。中央館、分館、公民館図書室のそれぞれにおいて、地域に密着したきめ細かい対応をした成果であると考えられる。</p>						実施回数	参加者数		891回	24,472名
	実施回数	参加者数									
	891回	24,472名									
平成20年度 事業予定と 今後の課題	継続										



事業番号	61	事業名	郷土博物館における幼児・児童、生徒対象事業の充実	担当課	郷土博物館
計画内容	通年にわたり、幼児、児童、生徒対象事業を企画・実施し、子どもたちが体験を通じ向学心を育むための各種事業の充実を図ります。				
	平成15年度実績	37,779人	平成21年度目標	充実	
平成19年度 実施状況と評価	<p>幼稚園：博物館展示の見学や昔遊び、ペカ舟乗船体験などを通して、博物館に興味を持ち、浦安の文化に親しむ。三軒長屋のお話会など。</p> <p>小学校：浦安の昔探し（市内めぐり）、道具や遊び道具から昔の生活を体験する。季節の行事体験、浦安の漁業、干潟の生き物、海苔すき体験など。</p> <p>中学校：選択社会「浦安の歴史・文化・自然等の郷土学習」 総合的な学習「干潟の生き物」</p> <p>夏休み企画：もっと知りたいふるさと浦安・学芸員講座・自由研究相談・郷土学習研究作品展 その他、体験事業：竹細工・お手玉・ねつけづくり・郷土料理・貝殻細工・宿泊体験・七夕飾り作り・お月見・ぼったら・紙雛作り・浦安カルタ作り・境川乗船体験・干潟観察会・野鳥観察会・子どもチャレンジなど。</p> <p>・上記事業は通年の継続事業として実施しており、原則として参加は事前の申し込み制である。参加募集数に関しては博物館職員およびボランティアの対応能力を勘案した受け入れ数を設定して実施している。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	継続的対応				

事業番号	62	事業名	土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業の実施	担当課	各公民館
計画内容	各公民館において、土曜日、長期休み等の乳幼児親子・子ども対象事業を企画・実施し、子どもたちの「生きる力」をはぐくむための各種教室や交流事業を実施します。				
	平成15年度実績	48回	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	<p>学校完全週5日制に対応した事業として、いずれも子どもの居場所づくり、また、仲間や指導にあたる大人との関わりの中で社会性を身につけることを主な目的として各公民館で実施した。</p> <p>夏休み期間に対応した事業では、子どもの創造力を養い、達成感を味わうことを目的としたものづくりの事業などを行い、夏休みの宿題にもつながるものとして各公民館で実施している。ほとんどの講座で定員を超える申し込みがあり、好評である。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	子どもの居場所づくりのため、また、社会性を身につける機会とするため、20年度以降も同様の事業を計画していきたい。				

事業番号	63	事業名	健全育成、家庭・地域教育力の向上を図る事業の実施	担当課	各公民館
計画内容	地域での健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上に向けた役割を持つ施設です。健全育成の推進と家庭・地域教育力の向上につながる事業を展開します。				
	平成15年度実績	21回	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	<p>体育館一般開放は、自由に体を動かす機会とすると同時に、安全管理者を配置することにより、遊びながらルールを身につけることを学ぶことができる。</p> <p>17年度からは、梅雨の時期に乳幼児と保護者を対象に体育館を開放している。</p> <p>家庭教育学級では、講師による家庭教育に即した内容の講義を開催するなど年間計画により展開し、受講生が熱心に企画運営を行い、成果をあげている。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	これまでの主催事業に加え、地域団体など指導や協力を依頼するなど、地域と子どもたちを結びつける事業を計画していきたい。				

事業番号	64	事業名	子ども映画会開催事業	担当課	視聴覚ライブラリー												
計画内容	完全学校週5日制の実施により、子どもの居場所作りが重要になり子ども映画会を開催することにした。視聴覚ライブラリーの所有する16ミリ映画フィルムの紹介及び利用促進を目指します。																
	平成15年度実績	15回開催	参加者数 1,216名	平成21年度目標	参加者数 2,000名												
平成19年度 実施状況と評価	<p>学校週5日制に伴う子ども対象事業の一環として子ども映画会を開催すると共に、視聴覚ライブラリーにおいて所有する16ミリ映画フィルム等の視聴覚教材の紹介及び利用促進を図る。</p> <p>平成19年度における開催回数の増加に伴い、事業の周知に力を入れた。</p> <p>併せて上映作品の選定や開催方法に工夫をしたことで、子ども向けの事業として認知度が高まり、来場者が増加した。</p> <p>開催内容 子ども映画会 毎月第2・4土曜日（年22回）</p> <p>対象 小学校6年生以下の子どもとその保護者</p> <p>参加者実績</p> <table border="1"> <tr><td>平成15年度</td><td>1,216名</td></tr> <tr><td>平成16年度</td><td>920名</td></tr> <tr><td>平成17年度</td><td>939名</td></tr> <tr><td>平成18年度</td><td>972名</td></tr> <tr><td>平成19年度</td><td>1,566名</td></tr> <tr><td>平成20年度参加者目標</td><td>1,800名</td></tr> </table>					平成15年度	1,216名	平成16年度	920名	平成17年度	939名	平成18年度	972名	平成19年度	1,566名	平成20年度参加者目標	1,800名
平成15年度	1,216名																
平成16年度	920名																
平成17年度	939名																
平成18年度	972名																
平成19年度	1,566名																
平成20年度参加者目標	1,800名																
平成20年度 事業予定と今後の課題	子どもたちに質の良い映画を見る機会を増やして欲しいとの市民からの要望に応じて、平成19年度から開催回数を月1回から2回に増加させた。 平成20年度は、更に事業の周知方法や開催方法に工夫をして、来場者の更なる増加を目指す。																

事業番号	65	事業名	放課後異年齢児交流促進事業	担当課	青少年課
計画内容	子どもたちに安心・安全な遊び場を確保し、年齢の違う子どもがふれあうことを目的に、小学校で放課後に異年齢児童との交流促進事業を行います。				
	平成15年度実績	4小学校, 40,368人	平成21年度目標	拡充	
平成19年度 実施状況と評価	<p>学校施設を利用して「遊び場」を確保し、遊びを通じた異年齢児間の交流の促進することにより、児童の自主性・社会性を養い、健全な育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内5小学校にて実施（入船北、日の出、南、東、明海）</li> <li>削除</li> </ul> <p>保護者から「学校施設を利用しているので安心して子ども達を遊ばせられる」、又、事故に際しても適切な対応をするなど評価は高い。</p> <p>各クラブのチーフからも、「遊びに来る子ども達もクラスや学年を超えてこの場で友達になり、交流の輪が広がっている」との声がある。</p> <p>平成19年度は、日の出小学校において「放課後子どもプラン」により学びの場も展開した。</p> <p>以上のように、「子育て支援」「青少年の健全育成」の両面から、良い評価を得られている。</p> <p>平成19年度利用者数 54,039人</p>				
平成20年度 事業予定と今後の課題	<p><b>事業予定</b></p> <p>平成20年度「放課後子どもプラン」の実施 放課後異年齢交流促進事業を実施している日の出小学校で平成19年度より実施し、今後も実施状況を踏まえながら検討していく。</p> <p><b>課題</b></p> <p>事業の実施に際しては学校の空き教室を使用しているが、他の学校では空き教室が無いため、新たな設置ができない。また、現在設置している小学校でも教室が不足してきた場合には、事業の存続を含めて検討しなければならない。</p> <p>全児童が対象であるが、対応するチーフ及びアシスタントパートナーの配置人員数により、安全確保の検討が必要である。</p>				

事業番号	66	事業名	ジュニアリーダー研修会によるリーダー育成の実施	担当課	青少年課
計画内容	ジュニアリーダー研修会を実施し、子どもたちの中心となって仲間づくり等に取り組む地域のリーダーを育成します。				
	平成15年度実績	32人	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	<p>リーダーに必要な知識・技術を習得する中で、リーダーとしての資質の向上を図り、同時に青少年団体の活動の充実・発展に役立てる。</p> <p>目標 (1) 表現力を身につける。 (2) 受容力を身につける。 (3) 行動力を身につける。</p> <p>参加者からも「楽しい」「学校以外の友達が増えた」などリーダー育成以外の健全育成という面からも良い評価が出来ると思う。又、参加した子ども達は浦安市リーダーズクラブに加入する子もいるなど、各子ども会や学校など地域の中でそれらを活かして活動している。</p> <p>研修内容等の見直し 平成19年度研修会(全8回)の実施状況 参加者31名(男子13名、女子18名) 参加延人数 平成19年度末 190人</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	研修内容等の見直し				

事業番号	67	事業名	青少年相談員による健全育成活動の実施	担当課	青少年課
計画内容	青少年と一体となり、共に喜び、共に語り、青少年の相談相手になる青少年相談員を設け、その地域での育成活動の積極的な推進を図り、青少年の健全育成に取り組みます。				
	平成15年度実績	参加者	延べ680人	平成21年度目標	継続
平成19年度 実施状況と評価	<p>・地域の青少年健全育成の担い手である青少年相談員活動の充実を図る ・学校、家庭、地域との交流を図る</p> <p><b>実施内容</b> ・たげのご掘り ・少年親善スポーツ大会(10人11脚・ミニバスケボール) ・ブラックシアター製作、発表 ・子ども体験学習 ・青少年夏のキャンプ(1泊2日) 台風により中止 ・少年スケート教室(1泊2日)</p> <p>様々な事業を市内在住の小・中学生から募集し実施することで、子ども達や相談員間の交流も図れている。 参加者を集めて何処かに行き終わりという事業だけではなく、地域と密着した事業内容も盛り込まれているので、良い評価と考えられる。 平成19年度参加者数 1,200人</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	今後も事業の充実に向け、青少年相談員連絡協議会と連携を図りながら青少年健全育成に努めていく。				

事業番号	68	事業名	青少年館活動事業の充実	担当課	青少年館
計画内容	青少年が自主的に活動する居場所づくりを通して、青少年同士の交流や活動を支援します。				
	平成15年度実績	1か所	延べ利用者数 45,006人	平成21年度目標	1か所 充実
平成19年度 実施状況と評価	<p>青少年が自由に集まり、自主的に活動するいわゆる居場所づくりを通して、個々の自己実現を図ると同時に、青少年同士の交流と自発的な学習や趣味等の活動を行うため青少年館を設置している。平成19年度からは指定管理委託とし、(財)浦安市施設利用振興公社が管理・運営している。</p> <p>その中で、学習と体験と交流の場を提供するため、クライミング体験会・浴衣を着よう・科学あそび教室・紙すき教室・七宝焼き教室・エコクラフト教室・天体教室・木工教室・ダンス教室等の事業を開催した。</p> <p>青少年館の主催事業については、クライミング体験・講習会・ヒップホップダンス・浴衣着付け・金融経済入門等を開催している。</p> <p>平成19年度利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日数 300日</li> <li>・利用者数 37,813人</li> <li>・内訳 小学生 10,891人 中学生 11,780人 高校生 10,745人 その他 4,397人</li> </ul> <p>放課後や土曜・日曜・祝日の休日の居場所として利用されているが、限られた子どもたちの利用や利用する青少年の地域が偏ってしまっている。</p> <p>青少年館の主催行事を計画し、多くの子どもの参加を得ることができた。</p> <p>また、運営委員会を組織し、子どもたちに行事の計画・立案・準備等を行わせる中で、子どもたちの生き生きと活動する姿や成長を見ることができた。</p> <p>指定管理者となったが、変わらず多くの子どもたちの居場所として利用されている</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	指定管理者と連携を図り、魅力ある青少年館にしていく。				

事業番号	69	事業名	青少年活動支援の推進	担当課	青少年課
計画内容	市内にある子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウト、リーダーズクラブなどの青少年団体活動を支援し、地域において子どもたちの健全育成につながる青少年活動を推進します。				
	平成15年度実績	市子連 1団体 子ども会 33団体	平成21年度目標	推進	
平成19年度 実施状況と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付活動(浦安市子ども会育成連絡協議会、子ども会31団体、ボーイスカウト2団体、ガールスカウト2団体、浦安市リーダーズクラブ)</li> <li>・側面的な支援(様々な事業の手伝い及び後援)</li> </ul> <p>各団体とも自主的に地域に貢献する事業を展開しているので、良い評価と考える。</p> <p>課題としては、各子ども会会員及び指導者の減少対策、子ども会育成連絡協議会(子ども会の上位団体)に加入促進対応策の検討。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	青少年健全育成を推進するにあたっては、青少年関係団体の協力を得ることが大きな推進力となっており、今後も連携を図りながら事業の充実に努めていく。				



事業番号	70	事業名	青少年問題協議会の設置・開催		担当課	青少年課
計画内容	青少年の現状や問題を把握し、青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策づくり、及び適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を図るため、青少年問題協議会を設置・開催します。					
	平成15年度実績	1回	平成21年度目標	継続		
平成19年度 実施状況と評価	3月開催 青少年問題の原因及び対応策を協議することで、今後の青少年の健全育成を図ることができる。					
平成20年度 事業予定と 今後の課題	他市では、青少年問題協議会を廃止している市町村もあり、以前は廃止も検討に入っていたが、地域、学校、行政という連携を考えると廃止よりも内容充実を図りたい。					

事業番号	71	事業名	少年の広場の充実		担当課	青少年課
計画内容	青少年団体が野外活動を行う場を整備・提供します。					
	平成15年度実績	1か所 90団体、4,181人	平成21年度目標	1か所,充実		
平成19年度 実施状況と評価	青少年団体等の野外活動の場として、浦安市施設利用振興公社に委託し運営している。公社の自主事業により利用者への呼びかけを行っている。  青少年課としては、施設の改修工事や大きな修理以外は行っていない。 (簡易な修理は公社が行っている) 少年の広場は指導者(保護者)と青少年が利用するので、利用する日は土日に限られる。それを考えると年間104回(宿泊35回、日帰り69回)の利用は多いと評価できる。  年間利用者数 平成19年度 3,325回					
平成20年度 事業予定と 今後の課題	利用にあたってのハード・ソフト面の工夫をこらし、より一層の利用促進を図っていきたい。					

事業番号	72	事業名	青少年交流活動センターの整備	担当課	青少年課
計画内容	学校、25歳未満の市民が構成員の過半数を占める青少年団体、その他教育委員会が特に認める団体が利用できる宿泊型の研修施設を整備し、青少年の交流等の促進を支援します。（平成17年度開設予定）				
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	整備・運営	
平成19年度 実施状況と評価	指定管理者により、施設維持管理、施設使用許可、保守点検、広報・宣伝活動などの業務がある。また自主事業の企画・運営など様々なイベントを開催し施設のPRも行っている。 <b>イベント実施内容</b> ・おもちゃで遊ぼう ・お父さんお母さんへ～“ありがとう”を贈ろう～ ・星を見てみよう ・ガラス・イテック ・多目的室無料開放 ・スポーツ大会 ・プランター菜園 ・敬老の日プレゼント作り ・エンジョイピラティス等 青少年団体等が多く宿泊するなど、青少年の交流の場、健全育成の場として活用されている。施設利用者のアンケートでも好評の意見が多く占めている。 イベントについては、様々な年齢（2歳～高校生）対象と親子参加といった多くのイベントを開催し好評を得ている。 利用者数 平成19年度 33,497人				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	平成19年度に現在の指定管理者委託の期間が終了するため、平成20年度からは、新規契約となる。				

事業番号	73	事業名	市民交流施設の整備	担当課	青少年課
計画内容	主に中学生や高校生などの青少年が、芸術・音楽・文化をキーワードとして様々な活動に参加や体験ができ、またこれらの成果の発表が行える市民交流施設を整備します。（平成19年度開設予定）				
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	整備・運営	
平成19年度 実施状況と評価	青少年の居場所作りとしての施設で、マーレ内3階部分を新浦安カルチャープラザとして設置した。（PFI事業） 放課後や休日における青少年の活動・交流を中心として、芸術・音楽・文化をキーワードに、青少年が様々な活動に参加しやすい講座やイベントなど様々な事業を展開している。 実施内容はサービス要求水準書に基づき実施されている。  <b>平成19年度実績</b> ・青少年対象の講座：20,715人参加 ・貸室利用状況：1,600人 ・青少年交流広場（ガラス・入）：1,578人 ・イベントは8事業（10回）実施で675人  目標利用者数 平成19年度末 2万人				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	<b>事業予定</b> 平成19年度同様  <b>課題</b> ・青少年利用者の増加。 ・青少年以外の方々の施設利用に関する理解。 青少年が利用する時間帯 平日16時～22時 土曜日13時～22時 というものがあり、夜に会議室等の施設を利用したいという一般からの要望が数多く寄せられている。				

地域での有害環境対策の推進

事業番号	74	事業名	警察や薬剤師会から各学校への講師派遣による講話の実施	担当課	保健体育安全課
計画内容	喫煙、アルコール、薬物使用の害に関する知識を学ぶ機会を設けます。				
	平成15年度実績	小学校8校、中学校4校	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	浦安市内の児童・生徒の覚せい剤等の薬物使用に関する問題行動は全く無く、これは「薬物乱用防止教室」等による学校の取組の成果でもありと考える。 各小・中学校での薬物乱用防止教室における警察や薬剤師会による講演 小学校7校・中学校2校 計9校				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	本事業は、園児・児童・生徒の健全育成及び安全確保を図る上で有意義であることから継続する。				

事業番号	75	事業名	販売業者に対する対面販売の呼びかけ実施	担当課	青少年センター
計画内容	未成年者にタバコやお酒を売らないよう、販売業者に対する対面販売の呼びかけを実施します。				
	平成15年度実績	実施	平成21年度目標	継続	
平成19年度 実施状況と評価	未成年の飲酒・喫煙には補導の際、見落とすことなく注意を促し、購入先が判明した場合は、販売業者に対面販売を依頼する。また、有害図書等の販売については、県青少年健全育成条例に沿った販売方法を呼びかける。 未成年の喫煙は、世の中の禁煙の動きを反映し、ほとんど見られなくなってきている。 飲酒も夏の行事の時期を除いては極めて少なくなってきた。 有害図書等の販売も、県青少年健全育成条例の浸透で適切な陳列、販売が行われていた。				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	未成年の飲酒・喫煙については、今後も見過ごすことなく補導活動の際に注意を促していく。				

事業番号	76	事業名	青少年補導員による地域パトロールの実施	担当課	青少年センター																								
計画内容	教育委員会が委嘱した青少年補導員と青少年センターが協働して地域パトロールを実施し、青少年に声をかけ、非行防止を図ります。																												
	平成15年度実績	街頭補導による補導数	173人	平成21年度目標	充実																								
平成19年度 実施状況と評価	<p>青少年センターが主催する月6回の中央パトロールや各中学校区で自主的に実施する地区パトロール（原則各地区月2回）、また、花火大会や盆踊り等の市の行事でのパトロールなど積極的にパトロールを実施している。</p> <p>19年度パトロール実施回数と従事者人数（3月末日現在）</p> <table border="1"> <tr> <td>中央パトロール</td> <td>61回</td> <td>延べ</td> <td>225名</td> </tr> <tr> <td>地区パトロール</td> <td>165回</td> <td>延べ</td> <td>985名</td> </tr> <tr> <td>特別パトロール</td> <td>9回</td> <td>延べ</td> <td>231名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>235回</td> <td>延べ</td> <td>1441名</td> </tr> </table> <p>本年度も、通常のパトロールに加え、夏季休業中における深夜徘徊実態調査パトロールを2回、県下一斉広域列車パトロールを2回実施し深夜の子どもたちや列車内及び駅での実態の把握を行うことができた。また、パトロール時に着用している白のポロシャツやジャンパー、蛍光色の帽子が浸透してきたようで、パトロールが防犯活動にもつながっている。</p> <table border="1"> <tr> <td>パトロール実施回数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成15年度(実績値)</td> <td>314回</td> <td>平成19年度末</td> <td>417回</td> </tr> </table>					中央パトロール	61回	延べ	225名	地区パトロール	165回	延べ	985名	特別パトロール	9回	延べ	231名	合計	235回	延べ	1441名	パトロール実施回数				平成15年度(実績値)	314回	平成19年度末	417回
中央パトロール	61回	延べ	225名																										
地区パトロール	165回	延べ	985名																										
特別パトロール	9回	延べ	231名																										
合計	235回	延べ	1441名																										
パトロール実施回数																													
平成15年度(実績値)	314回	平成19年度末	417回																										
平成20年度 事業予定と 今後の課題	花火大会や盆踊りパトロール等の特別パトロールをはじめ、補導員の一層の参加を求めていく。																												

事業番号	77	事業名	地域パトロールでの注意喚起、啓発活動の充実	担当課	防犯課
計画内容	地域パトロールでの注意喚起、啓発活動により、子どもたちが犯罪に巻き込まれることを防ぐ活動を展開します。				
	平成15年度実績	-		平成21年度目標	継続
平成19年度 実施状況と評価	<p>子どもの見守り活動に対するキャンペーンを年1回実施したほか、市民まつり、年末に空き巣、ひったくりなどをテーマにした防犯キャンペーンを実施した。</p> <p>また、年間を通じて幼稚園、保育園、小学校、児童育成クラブにおいて児童連れ去り防止教室などを実施した。</p> <p>今年度は、地域と連携した児童防犯に対する活動が積極的に実施できた。</p>				
平成20年度 事業予定と 今後の課題	平成20年度においては、自治会やPTAなどが現在行っているパトロール活動を連携させることでより効果的、有効的な活動が実施できるような新しい組織づくりを推進する				